

作成日 平成 23 年 12 月 26 日  
改訂日 令和 4 年 5 月 16 日

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ライトクリスタル L-MS
製品整理番号	BA114
供給者の会社名称	株式会社ウォーターエージェンシー
住 所	162-0813 東京都新宿区東五軒町 3 番 25 号
担当部門	ケミカルサービス事業本部
TEL	03-3267-4073
FAX	03-3267-4106
緊急連絡電話番号	同 上
推奨用途および使用上の制限	工業用消臭剤

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品の GHS 分類

## 物理化学的危険性

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高圧ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	区分に該当しない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:気体)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:粉塵)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

## 健康に対する有害性

## 環境に対する有害性

## GHSラベル要素

絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	
<安全対策>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。</li> <li>・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。</li> <li>・取扱い後は手をよく洗うこと。</li> <li>・ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。</li> <li>・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。</li> <li>・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。</li> </ul>
<応急措置>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。</li> <li>・皮膚(又は髪)に付着した場合：汚染された衣類を直ちにすべて脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。</li> <li>・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当てを受けること。</li> <li>・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。</li> <li>・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察、手当てを受けること。</li> <li>・火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。</li> </ul>
<保管>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施錠して保管すること。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。</li> </ul>
<廃棄>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容物及び容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して廃棄すること。</li> </ul>

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	①香料 ②モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルビタン ③ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンモノ(2-デシル)テトラデシルエーテル ④リン酸ソーダ ⑤色素 ⑥非開示成分 ⑦水
化学物質を特定できる一般的な番号	① — ②CAS No. 9005-64-5 ③CAS No. 72484-69-6 ④CAS No. 有り ⑤ — ⑥ — ⑦CAS No. 7732-18-5
化学式	①非開示 ②C <sub>26</sub> H <sub>50</sub> O <sub>10</sub> ③ — ④非開示 ⑤ — ⑥非開示 ⑦H <sub>2</sub> O
成分及び濃度又は濃度範囲	①香料 非開示 ②モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルビタン 非開示 ③ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンモノ(2-デシル)テトラデシルエーテル 非開示 ④リン酸ソーダ 非開示 ⑤色素 非開示 ⑥非開示成分 非開示 ⑦水 非開示
官報公示整理番号(化審法)	① — ②(8)-55 ③ — ④ — ⑤ — ⑥ — ⑦ —
(安衛法)	① — ② — ③ — ④ — ⑤ — ⑥ — ⑦ —

## 4. 応急措置

吸入した場合	直ちに患者を安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移し、保温に努める。医師に連絡し、必要に応じて手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	清水で十分に洗浄する。医師に連絡し、必要に応じて手当てを受ける。
眼に入った場合	直ちに清浄な流水でよく洗眼する。医師に連絡し、必要に応じて手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぎ、直ちに吐き出させる。医師に連絡し、必要に応じて手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症状並びに最も重要な兆候及び症状	知見なし。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	救済者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	特になし。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素。
使ってはならない消火剤	知見なし。
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
特有の消火方法	この製品自体は不燃性であるが、火災にさらされた場合は多量の水で消火する。周辺で火災が発生した場合は火元から遠ざけるか、移動が困難な場合は水で冷却すること。容器が破裂する危険性があるため、消火作業は必ず安全な距離を確保し、遮蔽物を利用する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、保護マスク、保護眼鏡、長袖の作業衣、手袋等を着用して作業すること。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合は、ウエスで拭き取り、水で洗い流す。 多量の場合は、できるだけ容器に回収する。
二次災害の防止策	床を濡れた状態で放置すると滑り易く、スリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
局所排気・全体換気	必要に応じて全体換気、局所排気を行う。
安全取扱注意事項	作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	取扱い後は手をよく洗うこと。
保管	
安全な保管条件	使用時以外は直射日光を避け、通気の良い冷暗所で容器を密閉して保管する。
安全な容器包装材料	ステンレス、FRP、ガラス、エポキシコーティング。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	日本産業衛生学会(2014年度版):設定されていない。 ACGIH(2013年度版):設定されていない。
設備対策	蒸気やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	呼吸用保護具:保護マスクを着用する。 手の保護具:ポリ塩化ビニール袋製あるいは合成ゴム製の手袋を着用する。 眼、顔面の保護具:保護眼鏡を着用する。 皮膚及び身体の保護具:長袖作業衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	淡黄緑色透明～半透明
臭い	メロンのような香り
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	<b>6.0～8.0</b>
動粘性率	データなし
溶解度	水に任意に溶解
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	<b>1.01±0.02</b>
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	知見なし。
化学的安定性	通常の取扱い条件で安定。
危険有害反応可能性	知見なし。
避けるべき条件	知見なし。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	特になし。

## 11. 有害性情報

急性毒性	配合成分の情報をういたカットオフ値に基づく急性毒性(経口)の分類で区分に該当しないとなる。
皮膚腐食性／刺激性	加成方式に従った分類によると、区分2の成分が10%以下となるため、製品としては区分に該当しないとなる。
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	データなし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	配合成分の情報をういたカットオフ値に基づく皮膚感作性の分類で区分に該当しないとなる。
生殖細胞変異原性	データなし。
発がん性	データなし。
生殖毒性	データなし。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし。
誤えん有害性	データなし。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	データなし。
水生環境有害性 長期(慢性)	データなし。
残留性・分解性	データなし。
生体蓄積性	データなし。
土壌中の移動性	データなし。
オゾン層への有害性	データなし。

## 13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。  
関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

## 14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

非該当

航空規制情報

非該当

国内規制

陸上規制情報

非該当

海上規制情報

非該当

航空規制情報

非該当

輸送又は輸送手段に関する

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。

特別の安全対策

容器、包装に漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷のないように積載し、荷崩れを防止する。

緊急時対応措置指針

なし

## 15. 適用法令

労働安全衛生法

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

消防法

非該当

## 16. その他の情報

・記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査した訳ではないため、情報洩れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じることがあります。

重要な決定等にご利用される場合は、試験によって確かめられる事をお薦めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、推奨用途上の通常的な取扱いを対象としたものなので、推奨用途から外れる特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

・問合せ先

担当部門 ケミカルサービス事業本部

電話番号 03-3267-4073 FAX 番号 03-3267-4106